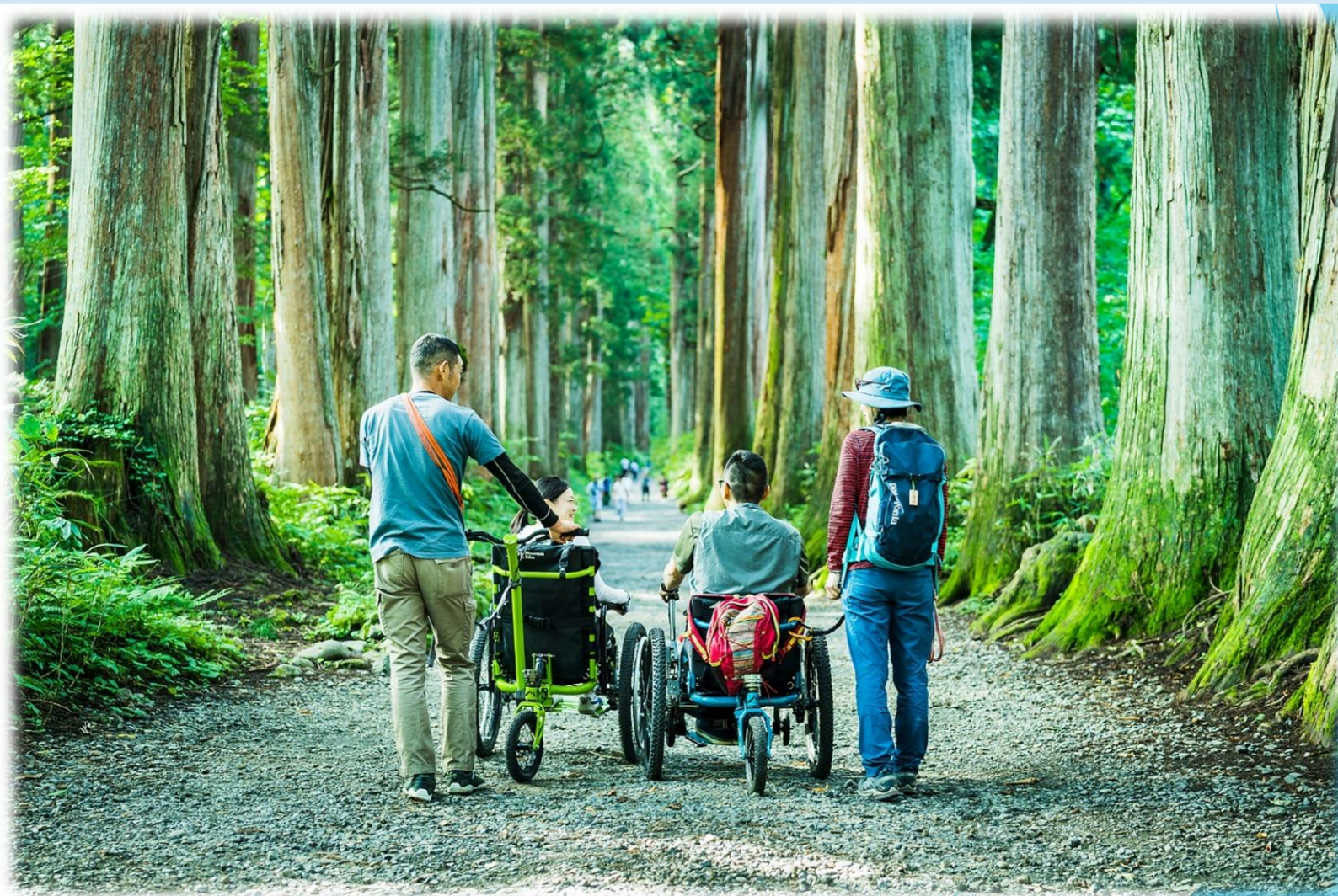




信州ユニバーサルツーリズム (UT)



①信州ユニバーサルツーリズム(UT)の特色

- H30年度からスタート！

バリアフリー化が難しい自然豊かな長野県のフィールドにおいて、サポートする実務専門人材育成や専門機器の導入支援、

モデルコース(プログラム)の造成を産学官で推進

- 障がい者共生条例公布（R4.3）に伴い、信州UTの取組を加速
- 急速な高齢化社会を迎える中、UTへのニーズが高まりをふまえ、
誘客やリピーター化に繋げる



年齢や障がいの有無に関わらず、

どなたでも安心して楽しめる山岳高原観光地へ

令和5年度長野県観光振興アクションプラン

方針① 受入環境整備を含めた観光地域づくり推進戦略

◆データで見る現状・課題

(長野県の宿泊旅行者)

- 県内の延宿泊者数(R1)：約1,800万人
- うち訪日外国人延宿泊者数：約158万人
- 宿泊先は、松本・軽井沢・長野・山ノ内が多い
(ほか、野沢温泉・白馬・木曾町は海外客多)

(長野県のコンテンツ・受入環境)

- 長野県への「宿泊旅行の目的」で、温泉・アウトドア・スキーが全国平均を上回る(じゃらん宿泊旅行調査)
- 日本百名山・癒し効果のある森林数・日帰り温泉数・スキー場数全国トップクラス(意外と頑張ってます長野県)
- 「現地へのアクセス」の満足度が長野県41%(全国37位)と相対的に低い(じゃらん宿泊旅行調査)
- 市町村・事業者から観光施設設備整備・二次交通の整備を望む声

(観光業の課題)

- 「パンデミックの影響で今までよりサステナブルに旅行したい」と回答した世界の旅行者：61%(観光白書)
- 障がいのある人もない人も共に生きる長野県づくり条例の制定により、観光地のユニバーサル対応も重要視
- 運輸・宿泊・飲食など「観光産業」は他産業よりDX化の取組が遅れている(観光白書)

▶ 施策推進のコンセプト

長野県ならではの「アウトドア」
(温泉・ワイン・サイクルなど)
をメインコンテンツとして推進

「サステナブル(持続可能性)」及び
「ユニバーサル」な観光地域づくりを
展開

▶ ターゲット設定

宿泊客及び訪日外国人旅行者が多く、
底上げや広域的な取組が必要と考えら
れるエリアを中心に取組を推進

②信州ユニバーサルツーリズム(UT)の推進体制

観光事業者

- モデルコース(プログラム)の造成
 - 受入体制の整備
 - サポート人材の育成
 - 機器の導入
 - 施設のバリアフリー化
- など

産学官の連携

行政だけでは推進は進まない！

長野県

- ファムトリップ・モニターツアーによる商品造成促進
 - 学習旅行の実証事業
 - 機器整備支援
 - 認知度向上や情報発信
- など

大学等

- 実務専門人材養成講座を開講
- UTの専門人材を養成
- 学習旅行の実証事業の企画・調整・実施
- 大学での観光特別講義の実施

③実務専門人材の育成

ユニバーサルツーリズムに対応した旅行商品の造成や、専門機器の扱いができる実務専門人材を養成

■ユニバーサルフィールド・コンシェルジュ【累計40名・H30～R4年度】

旅行商品の企画や観光事業者へのアドバイス、コーディネートに対応できる人材

■インクルーシブ野外活動指導員【累計31名・R2年～R4年度】

「インクルーシブ野外教育」の専門知識と専門機材の取り扱いの技術を持ち、プログラムの立案や指導・助言を行う人材



これまでに71名の実務専門人材を養成

④ 専門機器の導入支援

- ユニバーサルツーリズム推進機器導入等補助事業（県観光部補助金）← 今後募集開始
- 元気づくり支援金等により観光地への専門機器の導入を支援



JINRIKI（けん引式車いす装置） ※箕輪町の(株)JINRIKIが製作
ほとんどの車椅子に簡単に取り付けることができ、階段や砂利道などでもけん引することで楽に進めます。

【活用地域：阿智☆昼神観光局、富士見高原リゾート、戸隠観光協会等、ユニバーサルサポートすわ等】



Hippo campe（ヒッポキャンプ）

水陸両用のアウトドア用車椅子。自立歩行が難しい児童・生徒が、学校の仲間たちと共に取り組むことができ、野外学習でも活用できる。

【活用地域：なべくら高原森の家、富士見高原リゾート、志賀高原等】



デュアルスキー

座位が確保できなくても「椅子に座る」ことができれば重度の障がいのある方でもほとんどのゲレンデを楽しむことができる。資格を取得したパイロットが操縦するので安心。

【活用地域：戸隠高原、富士見高原リゾート、志賀高原】

➡ **計 45台を導入(R4年度末時点)**

⑤地域の特性を生かした多彩なプログラムの造成

季節毎に様々なフィールド体験ができる地域の特性を生かした多彩なプログラムを造成【9地域15コース】

白馬五竜・白馬岩岳(白馬村)

白馬五竜高山植物園では、アウトドア用一輪車=トレイルライダーに乗って園内を巡ることができます。白馬岩岳では、ねずこの森をアウトドア用車椅子を使った散策ツアーも！



富士見高原リゾート(富士見町)

ユニバーサルツーリズムの先進地。富士山や北アルプスを望む展望台まで、自動運転の「天空カート」で移動。森の中は、アウトドア用車椅子を利用して自由に散策



阿智☆昼神観光局(阿智村)

日本一の星空をみたい、高原を散策したい。車いすけん引補助装置やサポートによって「行けない」を「行ける」に変えることができます



志賀高原(山ノ内町)

アウトドア用車椅子やデュアルスキーを使って、当事者の体力や体調を考慮したアクティビティプランをご提供



なべくら高原 森の家(飯山市)

アウトドア用車椅子を使って、ユニバーサル遊歩道「ブナの里山こみち」を散策。春の新緑、秋の紅葉、雪の中四季と通して森の魅力を体験



戸隠観光協会(長野市)

アウトドア用車椅子や福祉用品のレンタルや、専門の相談がアドバイスやサポートをする「戸隠ユニバーサルツーリズムデスク」を開設。冬はデュアルスキーの体験も…



⑥学習旅行支援への取組

- 令和3年度から県内の小・中・特支を対象とした学習旅行の実証事業をスタート
- 学校において、支援が必要な児童・生徒と共に自然体験活動を行う

「インクルーシブ野外教育」活動を実施

野外学習の様子



実績

- ・ 令和3年度：3校
- ・ 令和4年度：7校

令和5年度も引き続き実施予定

⑦今後の展開

■ 県内のユニバーサルツーリズムフィールドのすそ野を拡大

9地域⇒20地域

- ・ 実務専門人材養成講座への参加拡大 サポート人材71名⇒150名
- ・ 新たなモデルコース（プログラム）を造成 15コース⇒40コース

■ 学習旅行の誘致を強化

- ・ 観光機構、旅行会社、大学等と連携し、
きめ細やかなプランを造成



今後も信州ユニバーサルツーリズム推進にご協力をよろしくお願ひします！